

令和2年度「やまがた緑環境税」活用事業（ハード） 実績額一覧

(単位：円)

区分	事業名	担当課	事業の概要	事業量等 (年間実績)	R2最終予算額 ( )は国庫補助含みの額	実績額	備考
I 環境保全を重視した 施策の展開	① 環境保全を重視した森林整備の推進						
	□ 荒廃森林緊急整備事業	森林ノミクス推進課	長期に管理放置された森林を整備し、森林の公益的機能を確保				
	人工林整備		スギなどの人工林を整備し、公益的機能の確保及び維持を図る	546 ha	200,432,000 ( 274,468,000)	198,063,451 ( 272,099,451)	
	○ 手入れが不十分で荒廃のおそれのある人工林の整備		やまがた緑環境税による整備	362 ha	154,779,000	153,471,465	地域ごとの実績：村山169ha、最上226ha、置賜28ha、庄内123ha
			国庫補助事業を活用した整備 (森林環境保全直接支援事業、合板・製材生産性強化対策事業等)	184 ha	45,653,000 ( 119,689,000)	44,591,986 ( 118,627,986)	
	里山林整備		病虫害被害木の伐採等	566 ha	308,428,000	306,105,478	
	○ 病虫害等で活力の低下した里山林の再生		・病虫害や風雪害等により、自然回復出来ない里山林の整備	515 ha	269,269,000	267,870,653	地域ごとの実績：村山113ha、最上13ha、置賜141ha、庄内299ha
			・森林景観整備・人と動物との共存林整備(市町村補助)	51 ha	39,159,000	38,234,825	
		(小計)		1,112 ha	508,860,000 ( 582,896,000)	504,168,929 ( 578,204,929)	地域ごとの実績：村山282ha、最上239ha、置賜169ha、庄内422ha
	② 環境資源の循環利用の促進						
	□ 森林資源再生事業	森林ノミクス推進課	森林の公益的機能を持続的に発揮する仕組みを構築	71 ha	12,906,000	11,885,129	
			・国庫補助事業に連携した再造林に要する経費の嵩上げ補助	71 ha	11,368,000	10,384,229	地域ごとの実績：村山1ha、最上31ha、置賜18ha、庄内21ha
			・国庫補助対象とならない箇所への苗木購入補助	0.00 ha	0	0	
			・再造林の低コスト技術の実証	( 4ha )	1,538,000	1,500,900	
	□ 森林資源循環利用促進事業	森林ノミクス推進課	間伐材等を、ラミナ、合板等用材やチップ、ペレット等の木質バイオマス燃料用材として利用するための搬出への支援	44,865 m3	25,899,000	25,563,000	
		① ラミナ・合板等用材	23,301 m3	11,648,000	11,345,000	県内搬出(ラミナ等)実績:20,831m <sup>3</sup> 県外搬出(合板等)実績:2,470m <sup>3</sup> 木質バイオマス燃料実績:21,564m <sup>3</sup>	
		② 木質バイオマス燃料用材	21,564 m3	14,251,000	14,218,000		
□ 広葉樹林健全化促進事業	森林ノミクス推進課	ナラ枯れ被害木を含むナラ林の伐採によるチップ等への活用に併せ、害虫の駆除とナラ林の若返りを図るため、搬出等を支援	650 m3	800,000	650,000		
		・伐採搬出及び作業道設置に対する補助	650 m3	800,000	650,000	地域ごとの実績：村山650m <sup>3</sup>	
	(小計)			39,605,000	38,098,129		
I (ハード事業)計	計			548,465,000 ( 622,501,000)	542,267,058 ( 616,303,058)		